

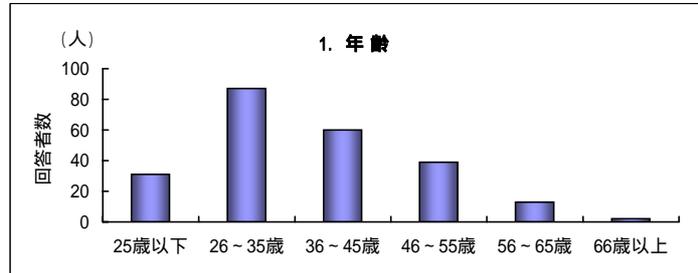
## 日本薬理学会女性会員の現状に関するアンケート（調査結果）

1. 実施方法：日本薬理学会のホームページに掲載したアンケート調査項目に無記名、一部複数回答方式で実施した。
2. アンケート期間：2009年7月1日～9月20日までの82日間とした。
3. アンケート項目：23項目、うち必須回答は1～6までの6項目。
4. 回答者数：合計232名。最終集計日：平成21年11月10日。

### 設問1 年齢(2009年4月1日現在の年齢をお答えください。)(必須)

**結果：年齢は35歳以下が5割。若手が多い。**

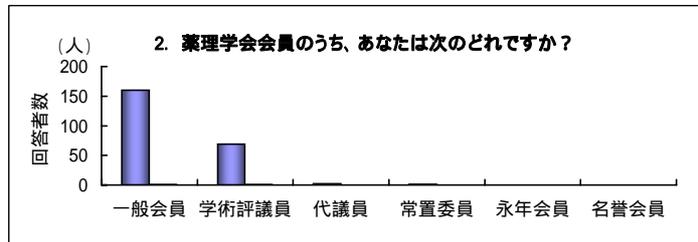
年齢(歳)	回答者(人)	(%)
25歳以下	31	13.4%
26～35歳	87	37.5%
36～45歳	60	25.9%
46～55歳	39	16.8%
56～65歳	13	5.6%
66歳以上	2	0.9%
合計232人		



### 設問2 薬理学会会員のうち、あなたは次のどれですか。(必須)

**結果：学術評議員は30%。36歳以上の会員は49%もいるのに、学術評議員が少なすぎる。**

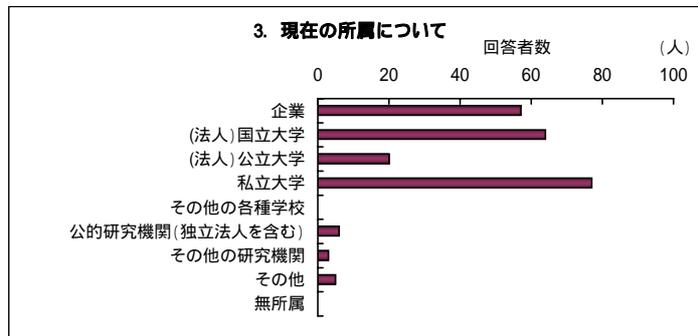
	回答者(人)	(%)
一般会員	160	69.0%
学術評議員	69	29.7%
代議員	2	0.9%
常置委員	1	0.4%
永年会員	0	0.0%
名誉会員	0	0.0%
合計232人		



### 設問3 現在の所属をお答えください。(必須)

**結果：回答者のうち4人に1人は企業に所属。**

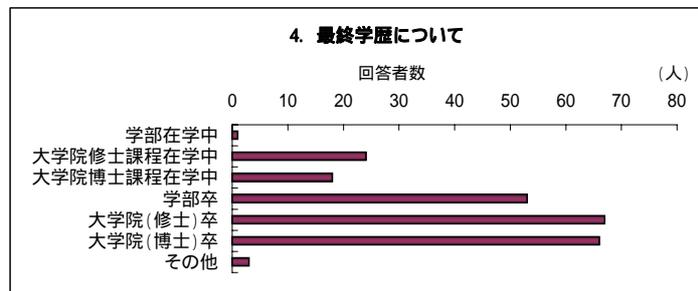
	回答者(人)	(%)
企業	57	24.6%
(法人)国立大学	64	27.6%
(法人)公立大学	20	8.6%
私立大学	77	33.2%
その他の各種学校	0	0.0%
公的研究機関(独立法人を含む)	6	2.6%
その他の研究機関	3	1.3%
その他	5	2.2%
無所属	0	0.0%
合計232人		



### 設問4 最終学歴をお答え下さい。(必須)

**結果：大学院卒(修士と博士)が半分以上。**

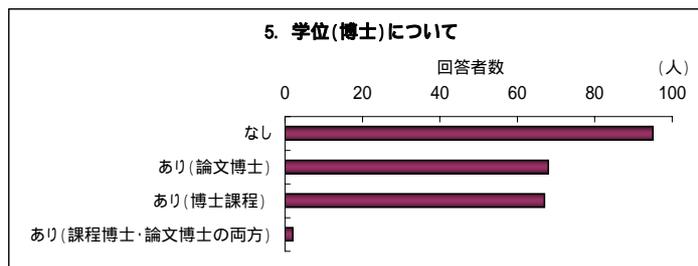
	回答者(人)	(%)
学部在学中	1	0.4%
大学院修士課程在学中	24	10.3%
大学院博士課程在学中	18	7.8%
学部卒	53	22.8%
大学院(修士)卒	67	28.9%
大学院(博士)卒	66	28.4%
その他	3	1.3%
合計232人		



### 設問5 学位(博士)についてお答えください。(必須)

**結果：博士号を持つ人は約6割。**

	回答者(人)	(%)
なし	95	40.9%
あり(論文博士)	68	29.3%
あり(博士課程)	67	28.9%
あり(課程博士・論文博士の両方)	2	0.9%
合計232人		



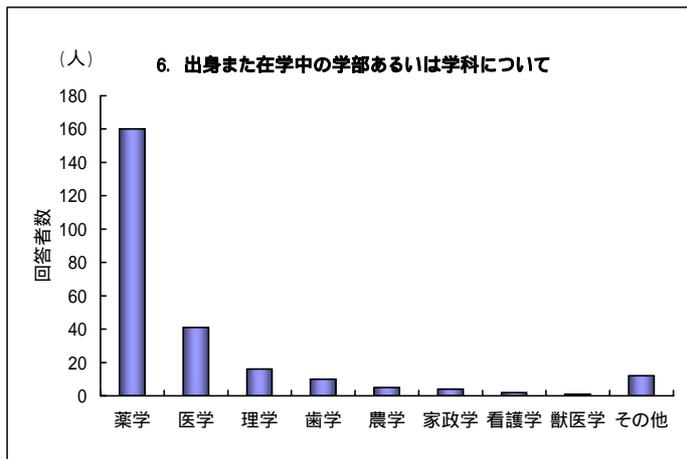
設問6 出身または在学中の学部あるいは学科をお答えください。(複数選択可)(必須)

結果: 薬学部出身が64%.

	回答者(人)	(%)
薬学	160	63.7%
医学	41	16.3%
理学	16	6.4%
歯学	10	4.0%
農学	5	2.0%
家政学	4	1.6%
看護学	2	0.8%
獣医学	1	0.4%
その他	12	4.8%
合計251人		

その他の出身学科

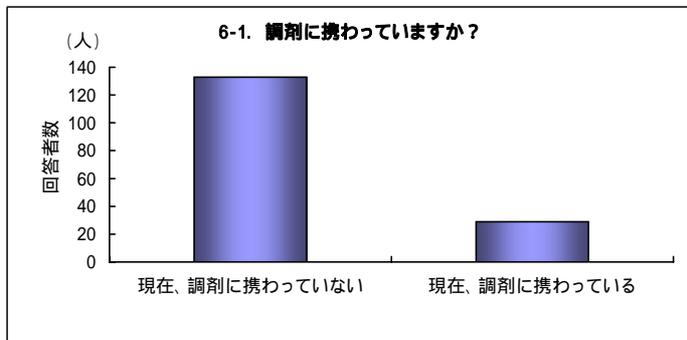
	回答者(人)
衛生技術学科	1
栄養学	1
工学	1
工学部生物工学科	1
情報工学科	1
生物学科	1
生物学学	1
人間科学部	1
鍼灸学	1
法学部	1
保健栄養	1
理工学	1



設問6-1 薬剤師免許をお持ちの方にお聞きします。

結果: 調剤に係っている人は18%.

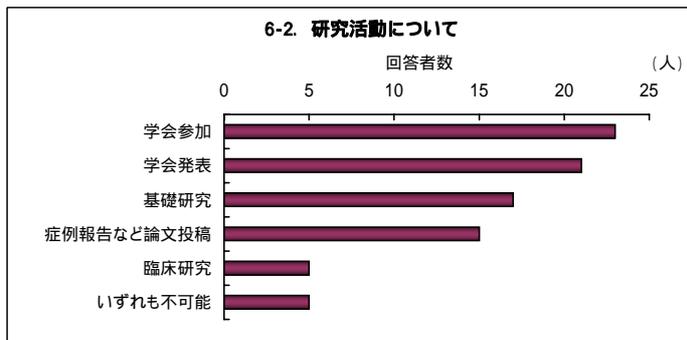
	回答者(人)	(%)
現在、調剤に携わっていない	133	82.1%
現在、調剤に携わっている	29	17.9%
合計162人		



設問6-2 薬剤師として勤務している方にお聞きします。現在の職場で以下のことは可能ですか。(複数選択可)

結果: 研究可能は8割.

	回答者(人)	(%)
学会参加	23	26.7%
学会発表	21	24.4%
基礎研究	17	19.8%
症例報告など論文投稿	15	17.4%
臨床研究	5	5.8%
いずれも不可能	5	5.8%
合計86人		



設問7 現在の地位をお答えください。

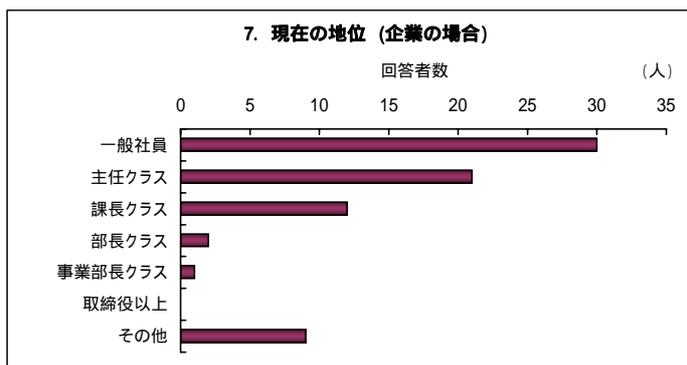
結果: 企業で主任以上の役職についている人は、30人以上。部長以上も3名。

○企業の場合:(複数選択可)

	回答者(人)	(%)
一般社員	30	40.0%
主任クラス	21	28.0%
課長クラス	12	16.0%
部長クラス	2	2.7%
事業部長クラス	1	1.3%
取締役以上	0	0.0%
その他	9	12.0%
合計75人		

○(企業の場合:その他の場合具体的に)

	回答者(人)
嘱託職員	1
調剤薬局アルバイト	7



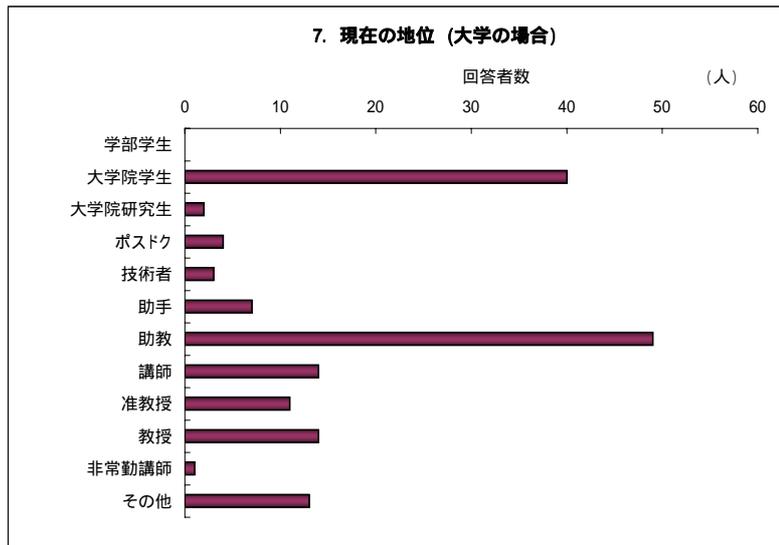
結果：大学では教授と講師が各9%、準教授7%。裾野が広がっていない。

大学の場⊃(複数選択可)

	回答者(人)	(%)
学部学生	0	0.0%
大学院学生	40	25.3%
大学院研究生	2	1.3%
ポスドク	4	2.5%
技術者	3	1.9%
助手	7	4.4%
助教	49	31.0%
講師	14	8.9%
准教授	11	7.0%
教授	14	8.9%
非常勤講師	1	0.6%
その他	13	8.2%
合計	158人	

(大学の場⊃:その他の場⊃具体的に)

	回答者(人)
日本学術振興会特別研究員	1
特任教授	1
研修医	1
特任助教(任期付非常勤)	1
特任助教	1
嘱託職員	1
研修員(基礎研究)	7
非常勤研究員	1

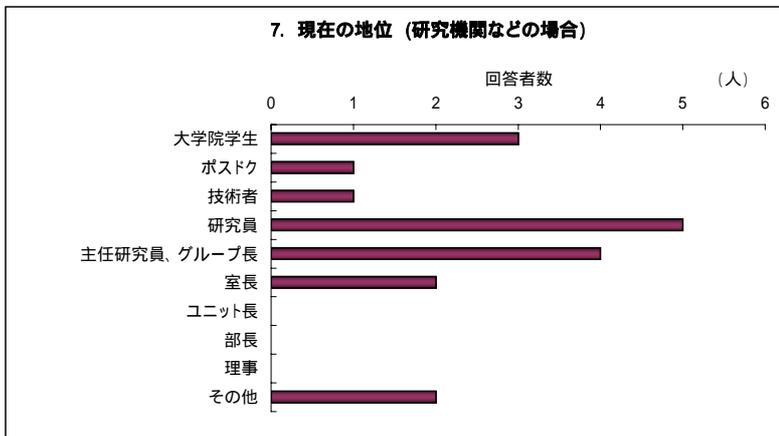


研究機関などの場⊃(複数選択可)

	回答者(人)	(%)
大学院学生	3	16.7%
ポスドク	1	5.6%
技術者	1	5.6%
研究員	5	27.8%
主任研究員、グループ長	4	22.2%
室長	2	11.1%
ユニット長	0	0.0%
部長	0	0.0%
理事	0	0.0%
その他	2	11.1%
合計	18人	

(研究機関などの場⊃:その他の場⊃具体的に)

	回答者(人)
客員研究員	1
薬剤副部長	1

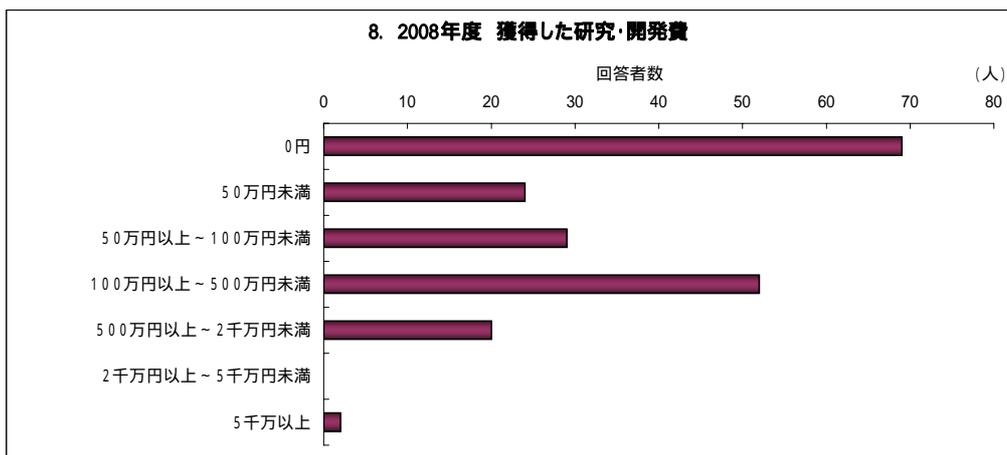


設問8 あなたに配分された、あるいは、あなたが獲得した研究・開発費の2008年度の額をお答えください。

結果：3人に2人は何がしかの研究費を獲得している。500万円以上が22人。

(学術振興会科研費、民間財団、大学、所属研究費・部署から、などを含む)

	回答者(人)	(%)
0円	69	35.2%
50万円未満	24	12.2%
50万円以上～100万円未満	29	14.8%
100万円以上～500万円未満	52	26.5%
500万円以上～2千万円未満	20	10.2%
2千万円以上～5千万円未満	0	0.0%
5千万円以上	2	1.0%
合計	196人	

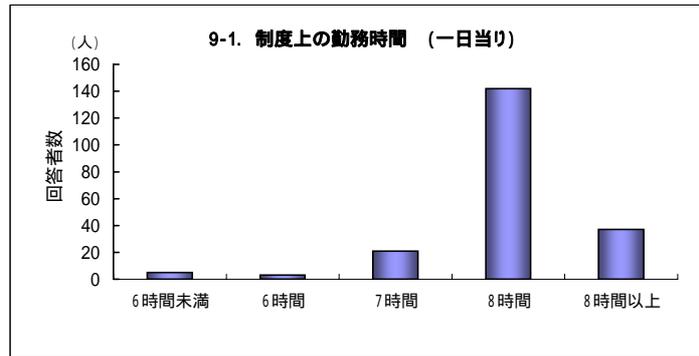


設問9 職場での仕事時間についてお答えください。

設問9-1 制度上の勤務時間は一日あたり、

結果：8時間が最多。

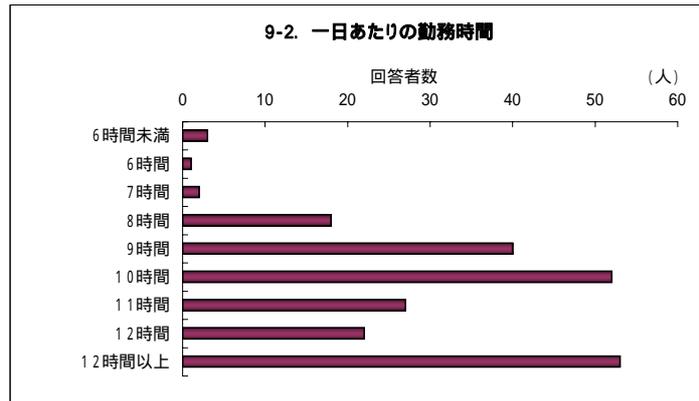
	回答者(人)	(%)
6時間未満	5	2.4%
6時間	3	1.4%
7時間	21	10.1%
8時間	142	68.3%
8時間以上	37	17.8%
合計208人		



設問9-2 実際に職場にいる時間は一日あたり、

結果：10時間以上いる人が7割！

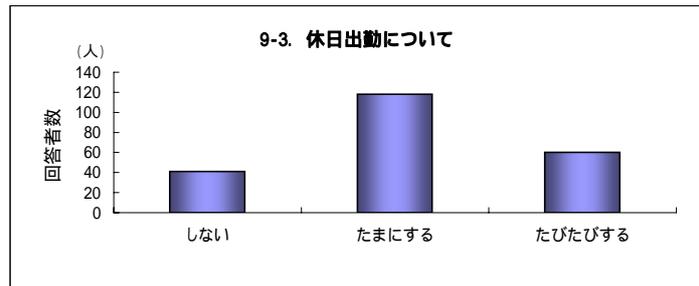
	回答者(人)	(%)
6時間未満	3	1.4%
6時間	1	0.5%
7時間	2	0.9%
8時間	18	8.3%
9時間	40	18.3%
10時間	52	23.9%
11時間	27	12.4%
12時間	22	10.1%
12時間以上	53	24.3%
合計218人		



設問9-3 休日出勤はしますか。

結果：8割以上がしている。

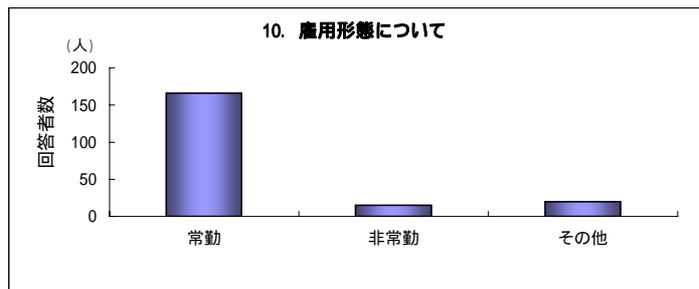
	回答者(人)	(%)
しない	41	18.7%
たまにする	118	53.9%
たびたびする	60	27.4%
合計219人		



設問10 現在のポストの雇用形態は：

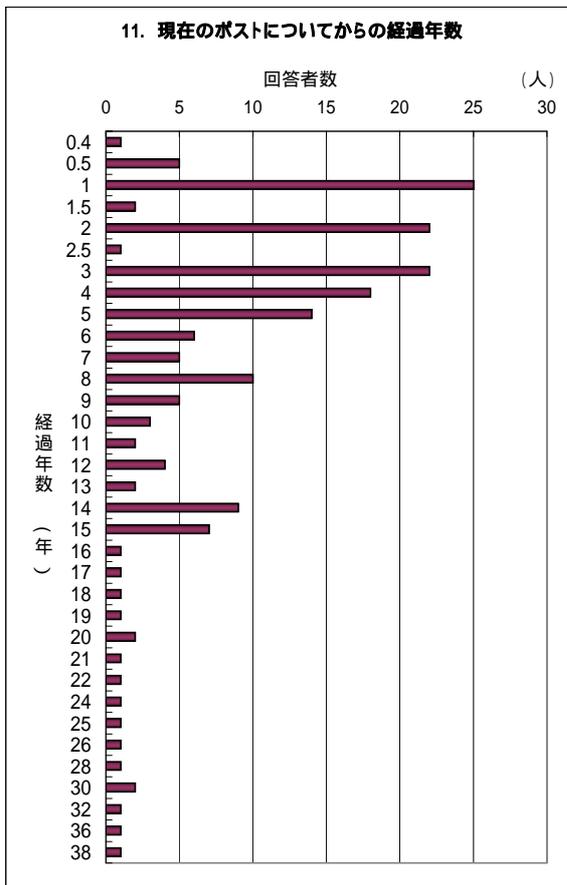
結果：常勤が圧倒的に多い。

	回答者(人)	(%)
常勤	166	82.6%
非常勤	15	7.5%
その他	20	10.0%
合計201人		



設問11 現在のポストについてからの経過年数をお答えください。

経過年数	回答者(人)
0.4	1
0.5	5
1	25
1.5	2
2	22
2.5	1
3	22
4	18
5	14
6	6
7	5
8	10
9	5
10	3
11	2
12	4
13	2
14	9
15	7
16	1
17	1
18	1
19	1
20	2
21	1
22	1
24	1
25	1
26	1
28	1
30	2
32	1
36	1
38	1
合計180人	

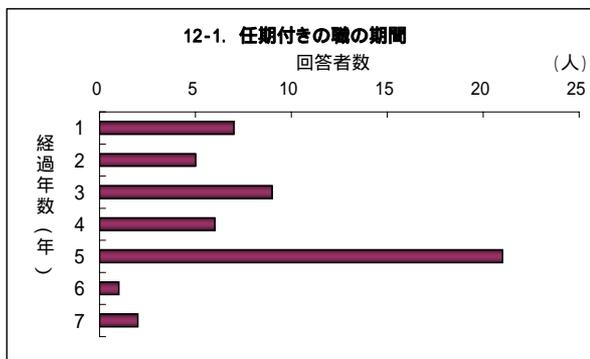


設問12 現在、任期付きの職(非常勤、ポスドク、契約社員を含む)についている方に伺います。

設問12-1 任期は何年ですか？

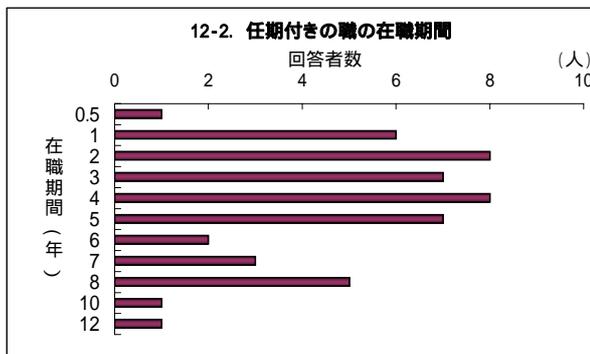
結果：5年が最も多い。

年	回答者(人)
1	7
2	5
3	9
4	6
5	21
6	1
7	2
合計51人	



設問12-2 これまで合計、何年間、任期月の職についていますか(休職、離職期間を除く)？

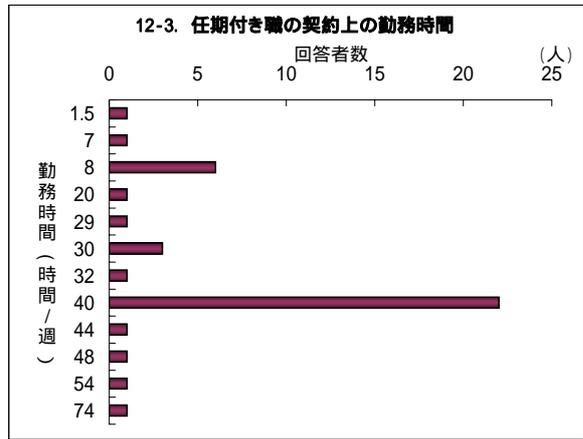
在職期間(年)	回答者(人)
0.5	1
1	6
2	8
3	7
4	8
5	7
6	2
7	3
8	5
10	1
12	1
合計49人	



12-3. 契約上の勤務時間は一週間当たり何時間ですか？

結果：40時間が最多。

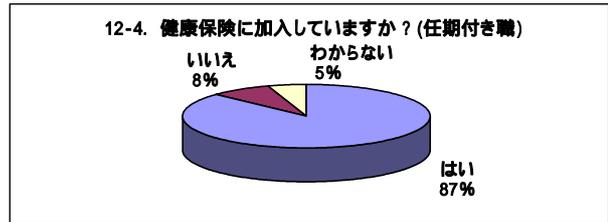
勤務時間 (週)	回答者(人)
1.5	1
7	1
8	6
20	1
29	1
30	3
32	1
40	22
44	1
48	1
54	1
74	1
合計40人	



設問12-4 所属する組織の健康保険(または共済組合)に加入していますか？

結果：加入は87%。

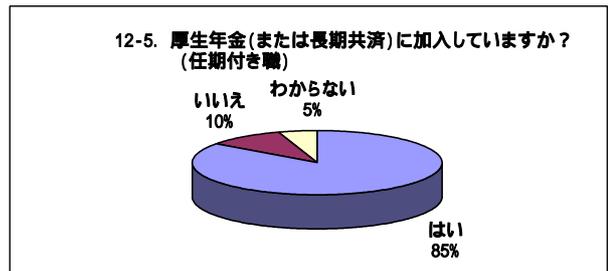
	回答者(人)	(%)
はい	53	86.9%
いいえ	5	8.2%
わからない	3	4.9%
合計61人		



設問12-5 所属する組織の厚生年金(または共済長期)に加入していますか？

結果：加入は85%。

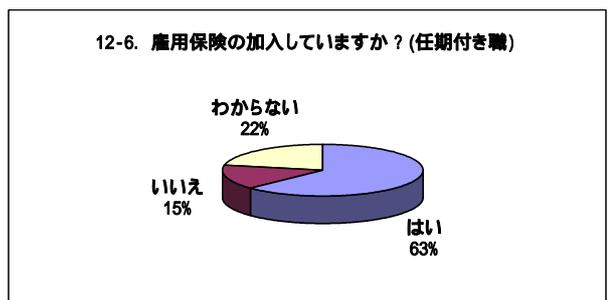
	回答者(人)	(%)
はい	51	85.0%
いいえ	6	10.0%
わからない	3	5.0%
合計60人		



設問12-6 雇用保険に加入していますか？

結果：63%が加入。

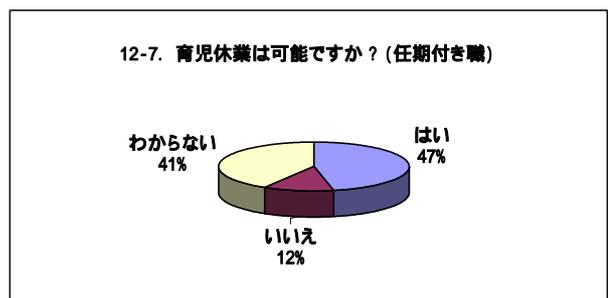
	回答者(人)	(%)
はい	37	62.7%
いいえ	9	15.3%
わからない	13	22.0%
合計59人		



設問12-7 育児休業は可能ですか？

結果：47%が可能。

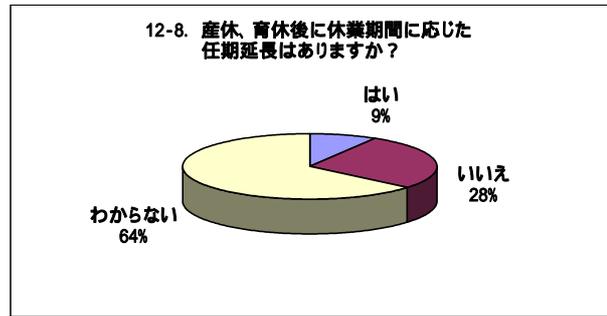
	回答者(人)	(%)
はい	27	46.6%
いいえ	7	12.1%
わからない	24	41.4%
合計58人		



設問12-8 産休、育休後に、休業期間に応じた任期延長はありますか？

結果： 9%が延長あり。

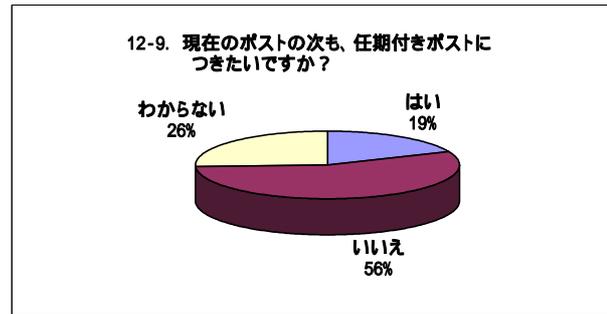
	回答者(人)	(%)
はい	5	8.6%
いいえ	16	27.6%
わからない	37	63.8%
合計58人		



設問12-9 現在のポストの次も、任期付きのポストにつきたいですか？

結果： つきたいは19%。

	回答者(人)	(%)
はい	10	18.5%
いいえ	30	55.6%
わからない	14	25.9%
合計54人		

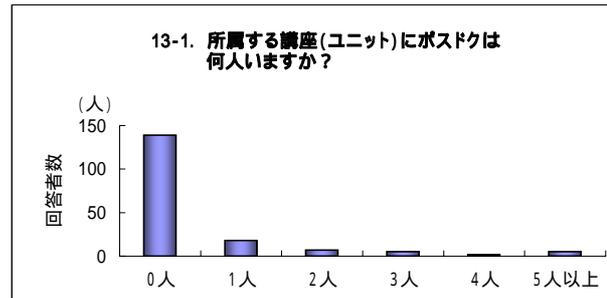


設問13 ポスドク制度についてお答え下さい。

設問13-1 あなたが所属する講座(ユニット)にポストは何人いますか？

結果： いないところが8割。

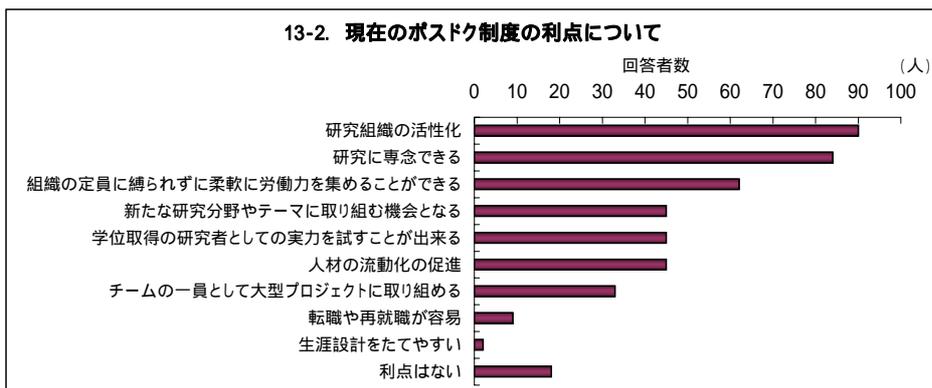
	回答者(人)	(%)
0人	139	79.0%
1人	18	10.2%
2人	7	4.0%
3人	5	2.8%
4人	2	1.1%
5人以上	5	2.8%
合計176人		



設問13-2 現在のポストドク制度の利点と思われるものをお選び下さい。(複数選択可)

結果： 組織の活性化、研究に専念できる、が利点。

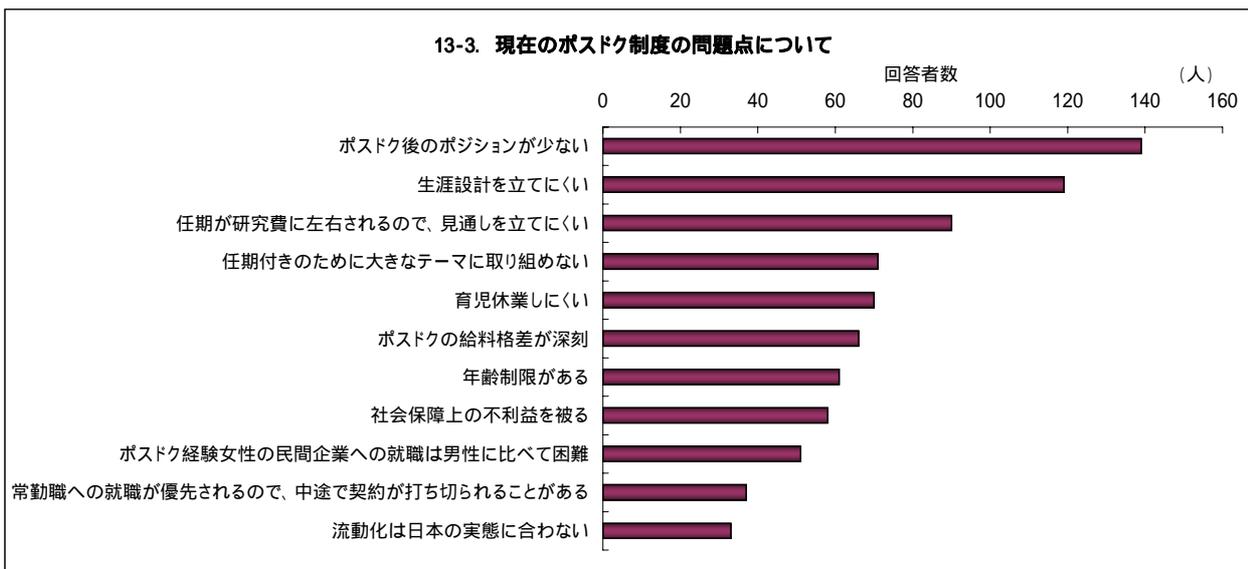
	回答者(人)	(%)
研究組織の活性化	90	20.8%
研究に専念できる	84	19.4%
組織の定員に縛られずに柔軟に労働力を集めることができる	62	14.3%
新たな研究分野やテーマに取り組む機会となる	45	10.4%
学位取得の研究者としての実力を試すことができる	45	10.4%
人材の流動化の促進	45	10.4%
チームの一員として大型プロジェクトに取り組める	33	7.6%
転職や再就職が容易	9	2.1%
生涯設計をたてやすい	2	0.5%
利点はない	18	4.2%
合計433人		



設問13-3 現在のポスト制度の問題点と思われるものをお選び下さい。(複数選択可)

結果: 次のポストがない、生涯設計をたてにくい、が難点。

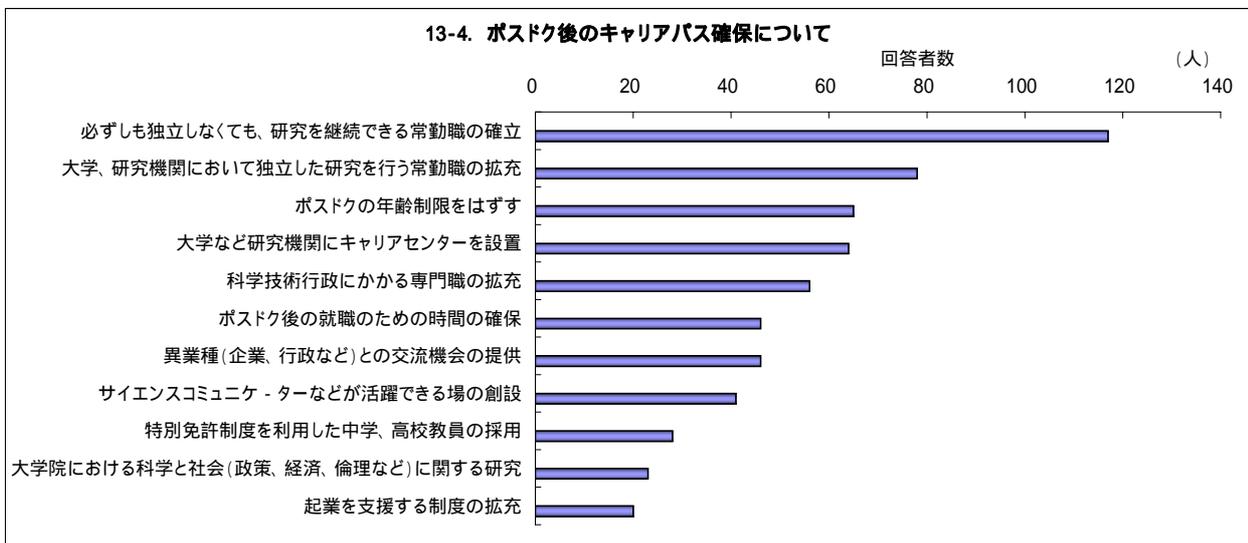
	回答者(人)	(%)
ポスト後のポジションが少ない	139	17.5%
生涯設計を立てにくい	119	15.0%
任期が研究費に左右されるので、見通しを立てにくい	90	11.3%
任期付きのために大きなテーマに取り組めない	71	8.9%
育児休業しにくい	70	8.8%
ポストの給料格差が深刻	66	8.3%
年齢制限がある	61	7.7%
社会保障上の不利益を被る	58	7.3%
ポスト経験女性の民間企業への就職は男性に比べて困難	51	6.4%
常勤職への就職が優先されるので、途中で契約が打ち切られることがある	37	4.7%
流動化は日本の実態に合わない	33	4.2%
合計795人		



設問13-4 ポスト後のキャリアパス確保のための取り組みとして必要と思われるものをお選び下さい。(複数選択可)

結果: ポスト後は常勤職がほしい。

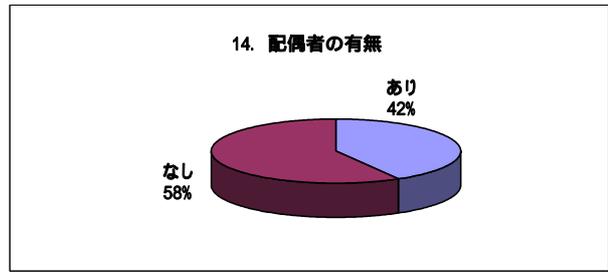
	回答者(人)	%
必ずしも独立しなくても、研究を継続できる常勤職の確立	117	20.0%
大学、研究機関において独立した研究を行う常勤職の拡充	78	13.4%
ポストの年齢制限をはずす	65	11.1%
大学など研究機関にキャリアセンターを設置	64	11.0%
科学技術行政にかかる専門職の拡充	56	9.6%
ポスト後の就職のための時間の確保	46	7.9%
異業種(企業、行政など)との交流機会の提供	46	7.9%
サイエンスコミュニケーターなどが活躍できる場の創設	41	7.0%
特別免許制度を利用した中学、高校教員の採用	28	4.8%
大学院における科学と社会(政策、経済、倫理など)に関する研究	23	3.9%
起業を支援する制度の拡充	20	3.4%
合計584人		



設問14 配偶者の有無をお答えください(法律婚に限らない)。

結果: 配偶者ありは42%。

	回答者(人)	%
あり	96	41.7%
なし	134	58.3%
合計230人		

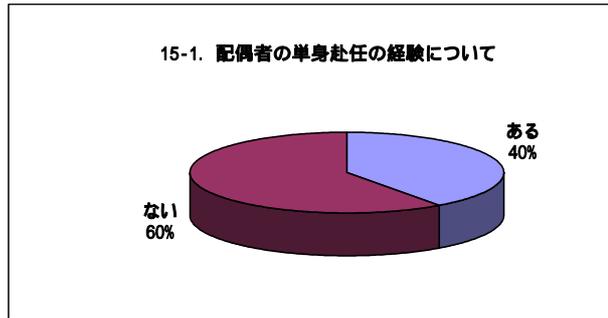


設問15 配偶者ありの方に伺います。

設問15-1 あなた自身または配偶者が単身赴任をした経験はありますか？

結果: 4割が経験。

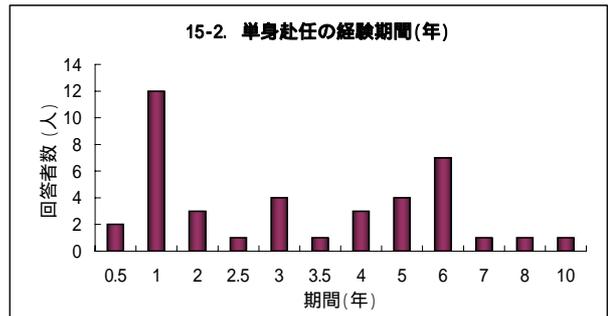
	回答者(人)	(%)
ある	40	40.0%
ない	60	60.0%
合計100人		



設問15-2 単身赴任の経験がある場合、その期間は通算何年でしたか？

結果: 1年が最多、次に多いのは6年。

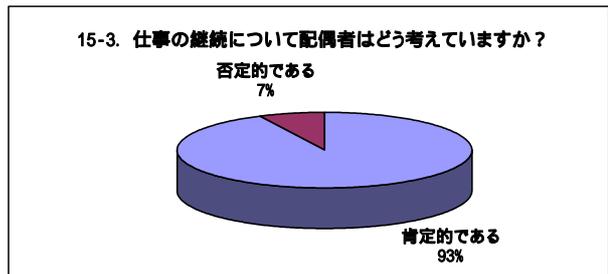
期間(年)	回答者(人)
0.5	2
1	12
2	3
2.5	1
3	4
3.5	1
4	3
5	4
6	7
7	1
8	1
10	1
合計40人	



設問15-3 配偶者は、あなたが仕事を続けていることに対して、どう考えていますか？

結果: 7%は否定的。

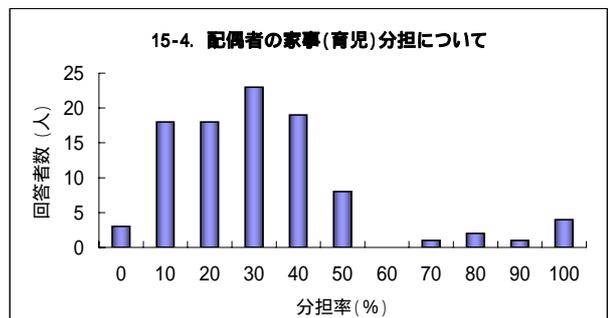
	回答者(人)	(%)
肯定的である	91	92.9%
否定的である	7	7.1%
合計98人		



設問15-4 配偶者は、家事(育児を含む)をどの程度分担していますか？

結果: 50%以下が9割。

家事(育児を含む)分担(%)	回答者(人)	(%)
0	3	3.1%
10	18	18.6%
20	18	18.6%
30	23	23.7%
40	19	19.6%
50	8	8.2%
60	0	0.0%
70	1	1.0%
80	2	2.1%
90	1	1.0%
100	4	4.1%
合計97人		

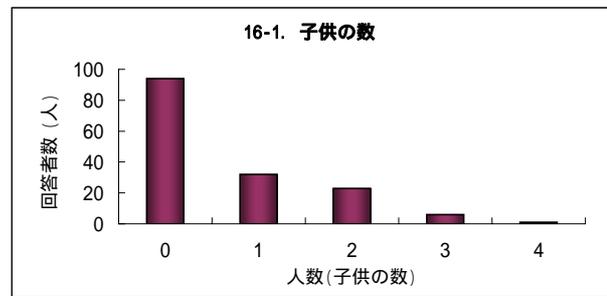


設問16 子供についてお答えください。

設問16-1 現在の子供の数は何人ですか？

結果：1-2人が最多。

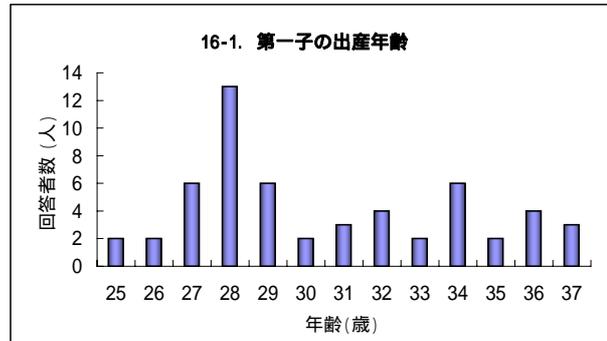
子供の数	回答者(人)	%
0	94	60.3%
1	32	20.5%
2	23	14.7%
3	6	3.8%
4	1	0.6%
合計156人		



設問16-1-2 第一子を出産した時のあなたの年齢をお答え下さい。

結果：28歳が最多。次は34歳。

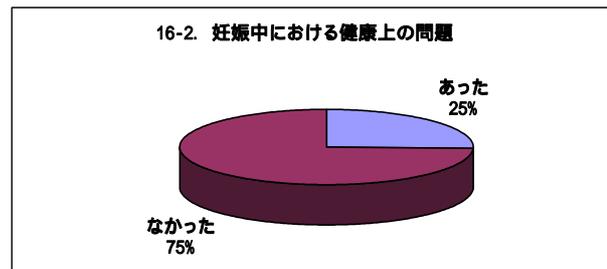
年齢	回答者(人)	(%)
25	2	3.6%
26	2	3.6%
27	6	10.9%
28	13	23.6%
29	6	10.9%
30	2	3.6%
31	3	5.5%
32	4	7.3%
33	2	3.6%
34	6	10.9%
35	2	3.6%
36	4	7.3%
37	3	5.5%
合計55人		



設問16-2 妊娠中、仕事が理由と思われる健康上の問題はありましたか？

結果：あった人は4人に1人。

	回答者(人)	(%)
あった	15	25.4%
なかった	44	74.6%
合計59人		



あったと答えた方は、理由を具体的にご記入下さい。

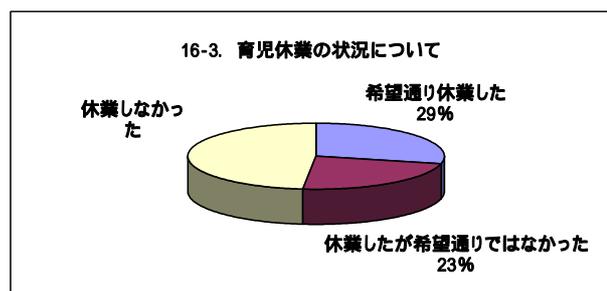
結果：切迫流産が多い。

- ・切迫
- ・早産
- ・切迫流産
- ・切迫早産
- ・切迫流早産
- ・むくみ、動悸等
- ・おなかが張りやすい
- ・休憩が十分でないためのむくみ、低出生体重
- ・動物飼育用ケージの洗浄などの労働
- ・トキソプラズマ感染
- ・妊娠・授乳期間中に放射性同位体を使用するリスク
- ・ある薬品が胎児に有害になる恐れで心配した
- ・妊娠中は問題なかったが、子育て中、子育て終了後無理がたつたようでした

16-3. あなたの育児休業の状況についてお答え下さい。

結果：希望どおりは3割弱。

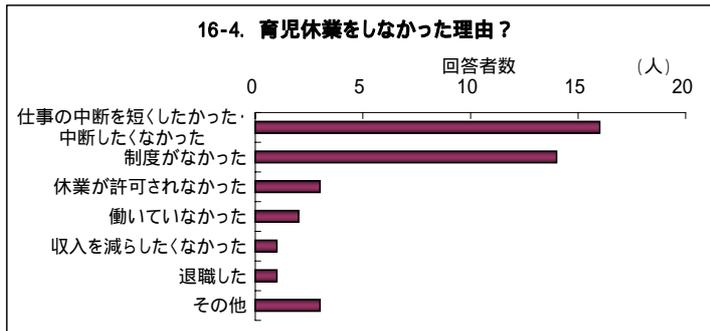
	回答者(人)	(%)
希望通り休業した	16	28.6
休業したが希望通りではなかった	13	23.2
休業しなかった	27	48.2
合計56人		



設問16-4 「育児休業したが希望通りではなかった」または「育児休業しなかった」場合、その理由は？

結果：仕事を中断したくなかったからが多い。

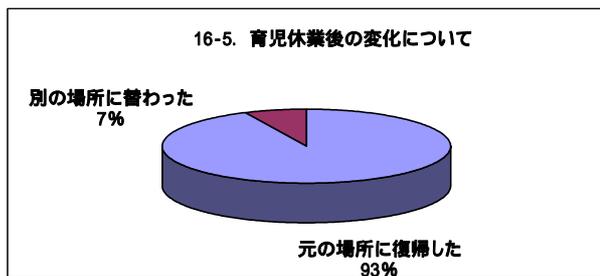
	回答者(人)	(%)
仕事の中断を短くしたかった・中断したくなかった	16	40.0%
制度がなかった	14	35.0%
休業が許可されなかった	3	7.5%
働いていなかった	2	5.0%
収入を減らしたくなかった	1	2.5%
退職した	1	2.5%
その他	3	7.5%
合計	40人	



設問16-5 育児休業した場合、その後の変化をお答え下さい。

結果：職を変った人は7%。

	回答者(人)	(%)
元の職場に復帰した	27	93.1%
別の場所に替わった	2	6.9%
現在就職先を探している	0	0.0%
合計	29人	1.0



設問16-6 配偶者が育休をとりましたか？

結果：とった人は4%のみ。

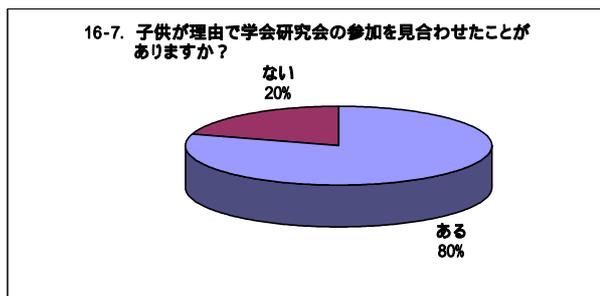
	回答者(人)	(%)
とらなかった	46	95.8%
1～3ヶ月未満	2	4.2%
合計	48人	



設問16-7 子供が理由で学会研究会の参加を見合わせたことがありますか？

結果：ある人は8割。

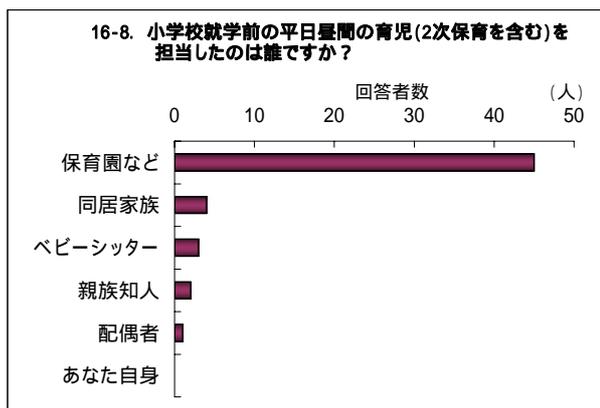
	回答者(人)	(%)
ある	43	79.6%
ない	11	20.4%
合計	54人	



設問16-8 子供が小学校就学前に、平日昼間の育児(2次保育を含む)は主に担当したのはどなたですか？

結果：8割が保育園。

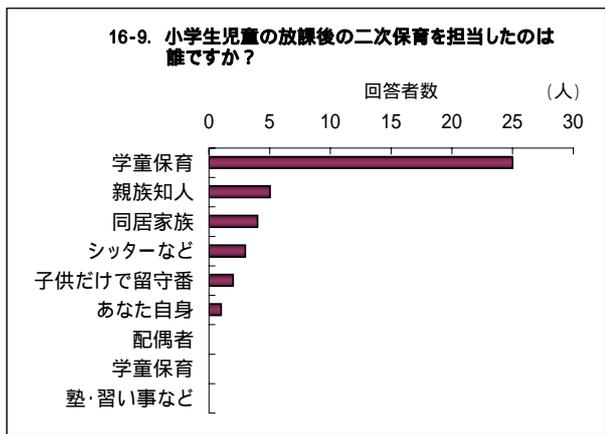
	回答者(人)	(%)
保育園など	45	81.8%
同居家族	4	7.3%
ベビーシッター	3	5.5%
親族知人	2	3.6%
配偶者	1	1.8%
あなた自身	0	0.0%
合計	55人	



設問16-9 子供が小学生のとき、放課後のお子さんの世話(二次保育)を主に担当したのはどなたですか？

結果：学童保育が6割

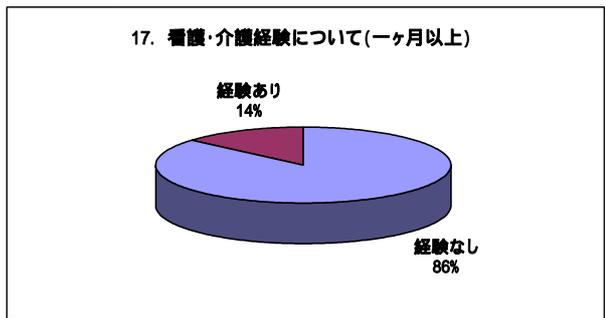
	回答者(人)	(%)
学童保育	25	62.5%
親族知人	5	12.5%
同居家族	4	10.0%
シッターなど	3	7.5%
子供だけで留守番	2	5.0%
あなた自身	1	2.5%
配偶者	0	0.0%
学童保育	0	0.0%
塾・習い事など	0	0.0%
合計	40人	



設問17 看護・介護経験についてお聞かせください。(一ヶ月以上にわたるものについて)

結果：14%があり、

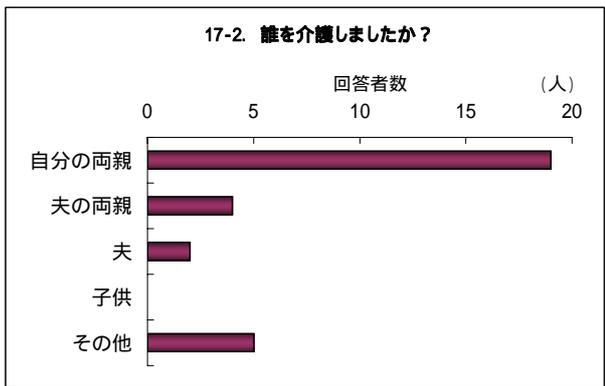
	回答者(人)	(%)
経験なし	179	86.5%
経験あり	28	13.5%
合計	207人	



設問17-2 看護・介護経験のある方は、誰を介護しましたが、

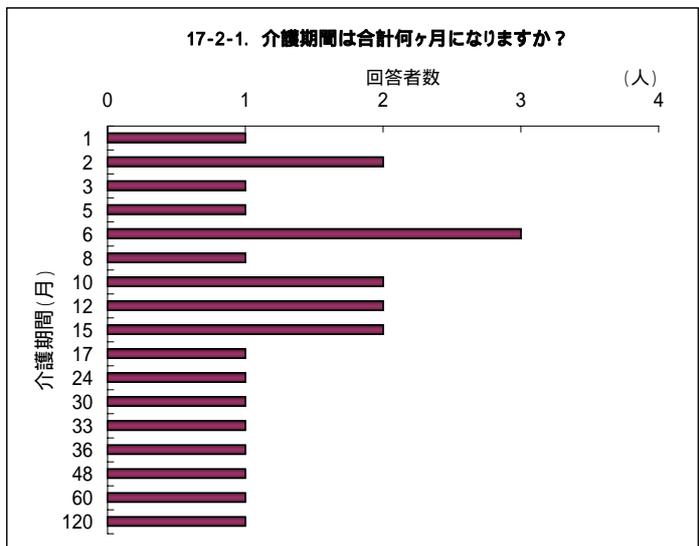
結果：自分の親が多い、

	回答者(人)	(%)
自分の両親	19	63.3%
夫の両親	4	13.3%
夫	2	6.7%
子供	0	0.0%
その他	5	16.7%
合計	30人	



設問17-2-1 介護期間は合計何ヶ月になりますか？(2名以上を介護したときはその合算月数を記入してください)

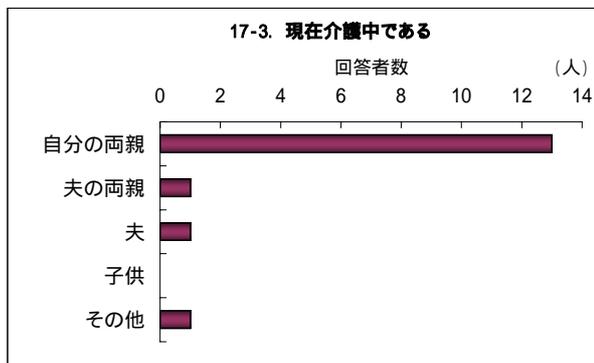
介護期間(月)	回答者(人)	(%)
1	1	4.3%
2	2	8.7%
3	1	4.3%
5	1	4.3%
6	3	13.0%
8	1	4.3%
10	2	8.7%
12	2	8.7%
15	2	8.7%
17	1	4.3%
24	1	4.3%
30	1	4.3%
33	1	4.3%
36	1	4.3%
48	1	4.3%
60	1	4.3%
120	1	4.3%
合計	23人	



設問17-3 現在介護中である。

結果：自分の親の介護が多い。

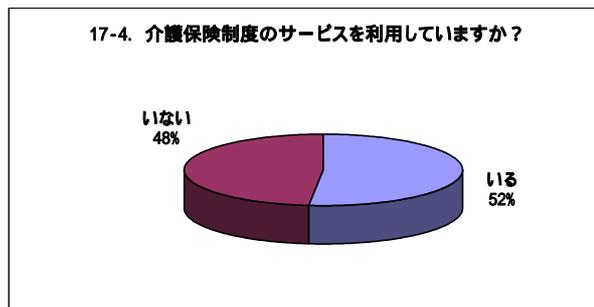
	回答者(人)	(%)
自分の両親	13	81.3%
夫の両親	1	6.3%
夫	1	6.3%
子供	0	0.0%
その他	1	6.3%
合計16人		



設問17-4 介護保険制度のサービスを利用していますか？

結果：半分しか利用していない。

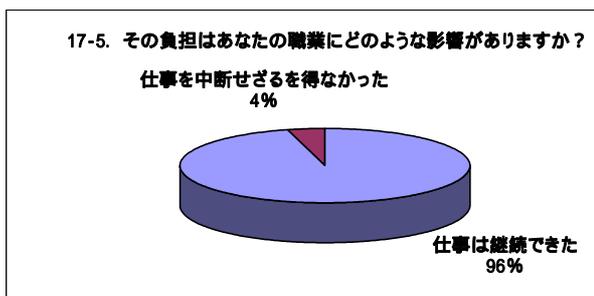
	回答者(人)	(%)
いる	15	51.7%
いない	14	48.3%
合計29人		



設問17-5 その負担はあなたの職業にどのような影響がありますか？

結果：仕事をやめた人もいる。

	回答者(人)	(%)
仕事は継続できた	23	95.8%
仕事を中断せざるを得なかった	1	4.2%
合計24人		



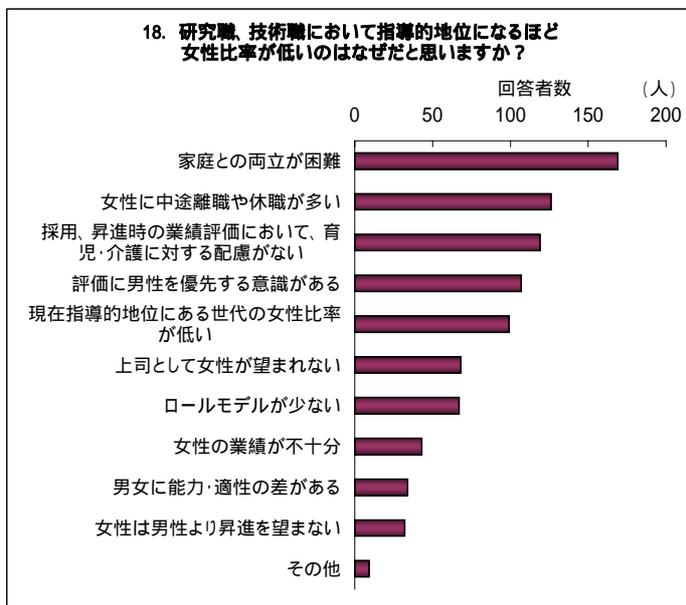
設問17-6 中断した方はその後をお聞かせ下さい。

	回答者(人)
元の職場に復帰した	1
別の職場に替わった	1
合計2人	

設問18 研究職、技術職において指導的地位になるほど女性比率が低いのはなぜだと思いますか？(複数選択可)

結果：家庭との両立困難だから。

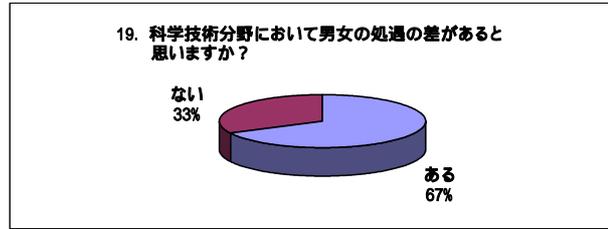
	回答者(人)	(%)
家庭との両立が困難	169	19.4%
女性に中途離職や休職が多い	126	14.4%
採用、昇進時の業績評価において、育児・介護に対する配慮がない	119	13.6%
評価に男性を優先する意識がある	107	12.3%
現在指導的地位にある世代の女性比率が低い	99	11.3%
上司として女性が望まれない	68	7.8%
ロールモデルが少ない	67	7.7%
女性の業績が不十分	43	4.9%
男女に能力・適性の差がある	34	3.9%
女性は男性より昇進を望まない	32	3.7%
その他	9	1.0%
合計873人		



設問19 科学技術分野において男女の処遇の差があると思いますか？

結果： 7割があると思う。

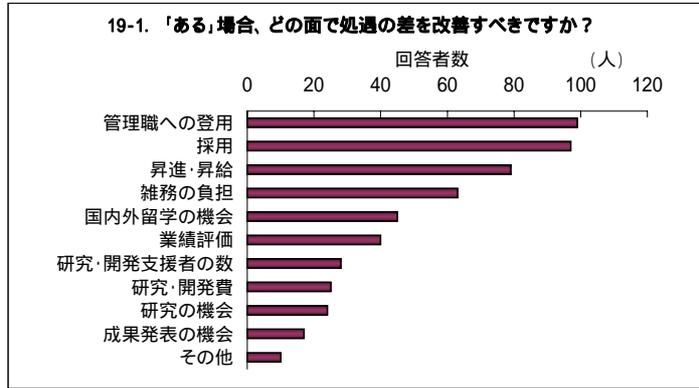
	回答者(人)	(%)
ある	149	67.4%
ない	72	32.6%
合計221人		



設問19-1 「ある」場合、どの面で処遇の差を改善すべきですか？(複数選択可)

結果： 管理職への登用、採用、昇進昇給、雑務。

	回答者(人)	(%)
管理職への登用	99	18.8%
採用	97	18.4%
昇進・昇給	79	15.0%
雑務の負担	63	12.0%
国内外留学の機会	45	8.5%
業績評価	40	7.6%
研究・開発支援者の数	28	5.3%
研究・開発費	25	4.7%
研究の機会	24	4.6%
成果発表の機会	17	3.2%
その他	10	1.9%
合計527人		

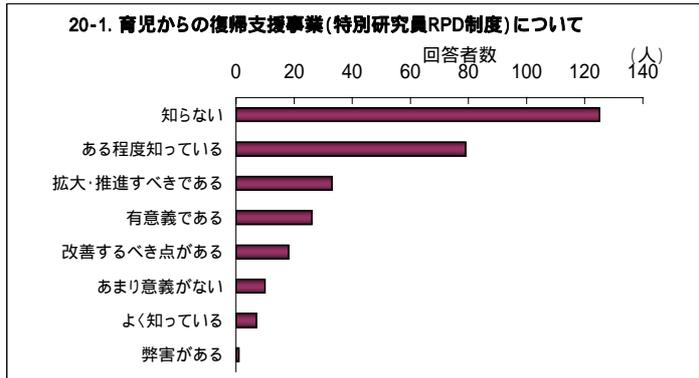


20. 第三期科学技術基本計画や第2次男女共同参画基本計画などを受けて新たに始まった国の施策について伺います。

20-1. 育児からの復帰支援事業(特別研究員RPD制度)について:(複数選択可)

結果： 知らない人が多い。

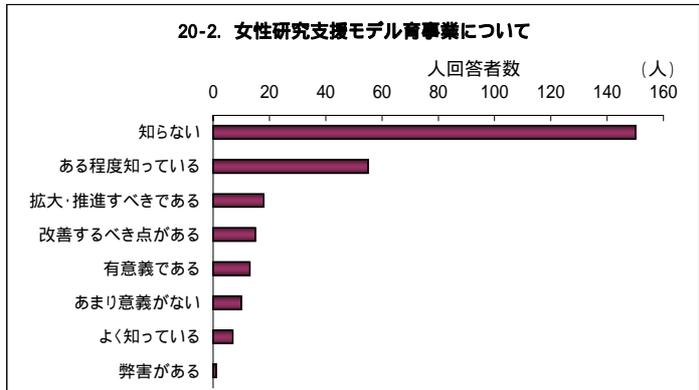
	回答者(人)	(%)
知らない	125	41.8%
ある程度知っている	79	26.4%
拡大・推進すべきである	33	11.0%
有意義である	26	8.7%
改善すべき点がある	18	6.0%
あまり意義がない	10	3.3%
よく知っている	7	2.3%
弊害がある	1	0.3%
合計299人		



設問20-2 女性研究支援モデル育成事業について:(複数選択可)

結果： 知らない人が多い。

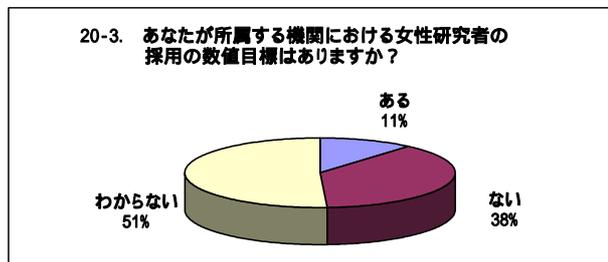
	回答者(人)	(%)
知らない	150	55.8%
ある程度知っている	55	20.4%
拡大・推進すべきである	18	6.7%
改善すべき点がある	15	5.6%
有意義である	13	4.8%
あまり意義がない	10	3.7%
よく知っている	7	2.6%
弊害がある	1	0.4%
合計269人		



設問20-3 あなたが所属する機関における女性研究者の採用の数値目標はありますか？

結果： あるは1割のみ。

	回答者(人)	(%)
ある	25	11.4%
ない	83	37.7%
わからない	112	50.9%
合計220人		

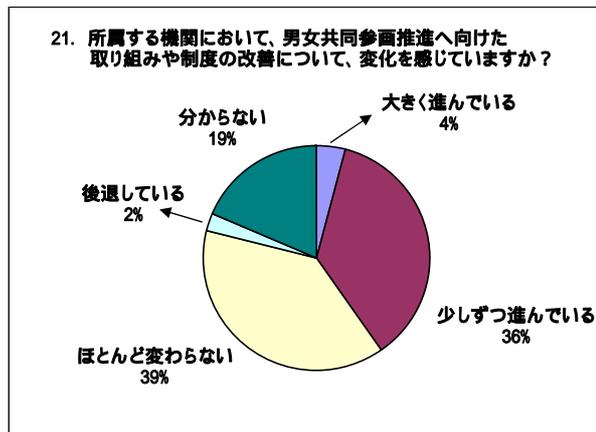


設問21 男女共同参画推進へ向けた取り組みや制度の改善について、変化を感じていますか？

所属機関において：

結果： 感じている人は40%。

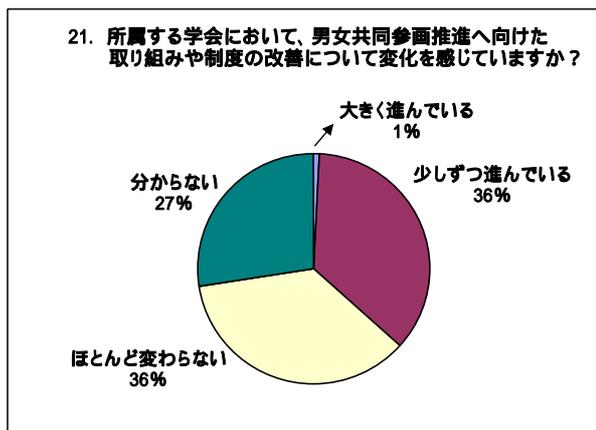
	回答者(人)	(%)
大きく進んでいる	9	4.1%
少しずつ進んでいる	79	36.1%
ほとんど変わらない	85	38.8%
後退している	5	2.3%
わからない	41	18.7%
合計219		



所属する学会において：

結果： 変化を感じている人は37%。

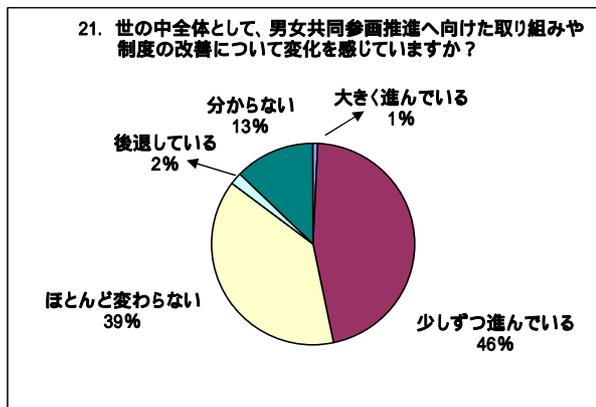
	回答者(人)	(%)
大きく進んでいる	2	0.9%
少しずつ進んでいる	78	35.8%
ほとんど変わらない	78	35.8%
後退している	0	0.0%
わからない	60	27.5%
合計218人		



世の中全体として：

結果： 変化を感じている人は48%。

	回答者(人)	(%)
大きく進んでいる	2	0.9%
少しずつ進んでいる	100	45.7%
ほとんど変わらない	85	38.8%
後退している	4	1.8%
わからない	28	12.8%
合計219人		



設問22 薬理学会に入会したことが、あなたのキャリアパス形成に役立ちましたか？

結果： はいは5割強。

	回答者(人)	(%)
はい	109	53.2%
いいえ	96	46.8%
合計205人		

